

会 議 議 事 録(抄)

会議名	専門学校東京テクニカルカレッジ 第一回 学校関係者評価委員会
開催日時	平成 26 年 7 月 18 日 (金) 18 時 00 分～20 時 00 分
会場	専門学校東京テクニカルカレッジ 地下 1 階 テラホール
参加者	外 部 委 員 : 16 名 (委員の氏名・所属等は巻末別添資料参照) 学内関係者 : 10 名
配布資料	① 式次第 ② 参加者委員名簿 ③ 前回議事録 ④ 平成 25 年度専門学校東京テクニカルカレッジ自己評価報告書 ⑤ 平成 26 年度第一回学校関係者評価委員会 会議資料 ⑥ 職業実践専門課程 文部科学省リーフレット写し
会議録	<p>1. 開会の辞・事務局紹介 (事務局) 東京テクニカルカレッジ白井企画部長の司会により開式が宣言され、配布資料の確認が行われた。</p> <p>2. 学園側関係者挨拶 学園側の関係者として、三上孝明 (専門学校東京テクニカルカレッジ 校長) が挨拶を行った。</p> <p>3. 委員紹介 (白井) 事務局より、委員名簿に基づいて委員の紹介が行われた。</p> <p>4. 議長ほかの選出 事務局提案により、本委員会の委員長並びに本会議の議長について選出が行われ、霜野隆 委員が委員長並びに議長に、また書記として前回に引き続き小野寺洋子 委員が選出された。</p> <p>5. 開催要件の確認 事務局より、委員 29 名中 26 名の参加があり、本会が成立していることが確認された。</p> <p>6. 議事</p> <p>(1) 第一号議案：平成 25 年度第 2 回会議議事録の確認。 議長は事務局に対し、平成 25 年 1 月 26 日に開催された第 2 回学校関係者評価委員会議事録の読み上げを指示し、その説明をさせた後、これを出席者にはかったところ、満場一致により齟齬がないことが確認された。</p> <p>(2) 第二号議案：平成 25 年度自己評価報告書に基づく学校関係者評価について 議長は、事務局に対し、平成 25 年度における自己評価の報告を指示し、事務局はこれに応じて配布資料④に基づいて自己評価の内容について概説を行った。その後議長は各委員に対し、上記説明に基づいて前回から追加の指摘事項や意見の有無を確認したところ、意見は出なかった。</p> <p>(3) 第三号議案：平成 26 年度事業計画概要と取り組みについて。 議長は事務局に対して資料⑤を用いて学校運営の改善、その他教育活動に関する説明を行わせた。当委員会指摘を反映した学園組織の本部制への変更、職業実践専門課程認定、教育訓練給付金制度関連書類提出、さらに文科省委託事業「環境・エネルギー分野中核人材養成プログラム開発」に関する報告の後、「リアルジョブプロジェクト (RJP)」の授業進捗状況について建築系、バイオ系、情報系毎に説明が行われた。</p> <p>(4) 第四号議案：取り組みに関する意見交換 議長は、三号議案の説明に基づいて各委員に意見を求めたところ、環境・エネルギー分野での設備設計・施工の重要性、RJP への期待が述べられた。 RJP については、参加する学生がどこまで具体的目標を持つかが重要であること、内部だけではなく、近隣の学校や農業高校など外部との連携も考慮すると良いのではないかと、といったご指摘があった。また非常に真面目な取り組みであるが、より楽しさを加えていくと良いのではないかとのご意見も得られた。</p> <p>以上の取り組みに関して議長が活動の是非を出席者にはかったところ、満場一致で異議無しとの結論であった。今後の改善取り組み内容について、次回 (平成 26 年度第二回学校関係者評価委員会) 進捗状況を説明して欲しいとの意見が出された。</p> <p>7. 次回日程について (議長) 平成 26 年 11 月 28 日 (金) 18 時 00 分～20 時 00 分</p> <p>8. 閉式の辞 (議長)</p>

以上

議事録署名人

_____ 印

_____ 印